

● こんな場所にいたら

家の中



- 揺れを感じたらテーブルなどの下にもぐるか、座ぶとんなどで頭を保護する。
- 転倒・落下の危険のある家具や照明器具、割れる恐れのある窓ガラスからできるだけ離れる。
- 火を使用中のときは、ただちに火の始末を。ガスは元栓も締め、コンセントは抜く。
- ガラス片などでケガをする恐れがあるので、裸足では歩き回らない。

デパート・スーパー



- カバンなどで頭を保護しながらショーウィンドーから離れ、柱や壁ぎわに身を寄せる。家具・電気製品・食器などの売り場は危険なので近寄らない。
- 係員の誘導に従って冷静に行動する。

地下街



- 耐震性の面でも防災設備の面でも地下街は比較的安全な場所なので、あわてないで係員の誘導に従う。
- 指示が無い場合は、カバンなどで頭を守りながら壁伝いに歩いて、最も近い出口から地上に出る。

オフィスビル・作業所



- オフィスビルの場合は、あわてて部屋から飛び出さず、ただちに机などの下にもぐる。ロッカーなど大型の備品の転倒や、机上のOA機器の落下にも注意する。
- 作業所の場合は、急いで作業台などの下にもぐる。ただし大型機械の倒壊・落下、爆発などの危険があるときは、脱出することを優先する。作業中の場合は非常停止し、火の始末も忘れずに。

劇場・ホール



- 座席のシートを上げてしゃがみ込み、カバンなどで頭を保護する。
- あわてて出口に走ると、将棋倒しに巻き込まれることもある。係員の指示に従って、落ち着いて行動を。

電車・バスの車中



- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って、落ち着いて行動する。

車を運転中



- ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として車を道路の左側に止め、エンジンを切る。急ブレーキは絶対に避ける。
- 冷静に周囲の状況を観察しながら、カーラジオをつけて正確な情報を収集する。
- 避難するときはキーをつけたままにし、ドアロックもしないで車を離れる。車検証や貴重品は忘れずに持ち出す。

路上



- その場に立ち止まらず、窓ガラスや看板などの落下物からカバンなどで頭を保護して、空き地や公園などに避難する。